

平成24年度事業所母集団データベース研究会（第4回）議事概要

- 1 日 時：平成25年3月27日(水) 13:30～15:00
- 2 場 所：総務省統計局6階 特別会議室
- 3 議 題：(1) ビジネスレジスターの整備に向けた取組について
(2) 今年度の検討状況（報告書（案））について
(3) 今後のビジネスレジスターの整備に向けて
(4) その他
- 4 出席者：清水座長、廣松委員、森委員、菅委員
統計調査部長、統計情報システム課長、調査企画課長、国勢統計課長、
経済基本構造統計課長、統計センター共同利用システム課長
統計局・政策統括官室・統計センター職員
- 5 議事概要：
 - (1) 「ビジネスレジスターの整備に向けた取組について」事務局より報告後、意見交換を行った。（特に意見はなかった。）
 - ・ 各種統計調査結果における共通事業所コードの保持状況
 - ・ EDINET情報の活用に関する基本的な考え方
 - (2) 「今年度の検討状況（報告書（案））について」事務局より説明後、意見交換を行い、概ね了承を得た。（課題以外の部分については了承された。）
 - (3) 「今後のビジネスレジスターの整備に向けて（今後の主な検討課題）」事務局より説明後、意見交換を行った。

【主な意見】

今後の主な検討課題について、以下の意見があった。

（廣松構成員） 次期基本計画を見据え、より積極的な表現で記載してもよいのではないか。

（菅構成員） ビジネスパターンの日本語訳について、「産業」は「industry」と理解されるので、事業所等の単位を表す言葉を用いた方がよいのではないか。

（森構成員） ビジネスレジスターは公的統計の作成を目的としている。よって、地理情報については、利用方法について誤解が生じないように整理する必要がある。

（菅構成員） 今後、売上高を層化項目として活用されることが想定される。必要があれば、標本設計の見直しを検討していくことが求められる。

6 次回開催予定

平成25年度事業所母集団データベース研究会の進め方等について説明し、25年度も引き続き研究会を開催することとなった。